

東京 TS ネットセミナーVol.14 開催レポート（2024年9月14日開催）

9/14(土)「住まいから考える更生支援」というテーマでセミナーを行いました。当日の講師は、一般社団法人つくろい東京ファンド代表理事の稲葉剛さん、NPO 法人東京ソテリアの海老名直也さんです。

まず、生活困窮という側面からの住居支援について、生活困窮者への相談・支援活動の現場に長年携わってこられた、つくろい東京ファンドの稲葉さんからお話をいただきました。この30年間の路上生活者をめぐる状況の移り変わりを聞きながら、支援が変われば、当事者の状況もそれに伴い変わっていくことが感じられました。お話の中で出てきた、「住まいは人権である」（＝誰に対してでもジャッジせずに住宅を提供する）という、ハウジングファーストの概念が印象的でした。

次に、精神障害という側面からの住居支援について、NPO 法人東京ソテリアにて、長年住宅セーフティネット事業に携わってきた、海老名直也さんからお話をいただきました。対象家屋の確保だけでなく、障害特性に配慮しながらの引越し作業の手伝いなど、多面的な支援に取り組んでいらっしゃったのが印象的でした。取組全体を通して、最後のまとめで挙げられていた、「共生的なコミュニティの創造」、支援対象者の「その『人』を知る」事が大事、という姿勢が貫かれていらっしゃるのを感じました。

お二方のお話を通じて、更生支援を考える上で、地域での暮らしを構築する最初のステップとしての、住まいの重要性の問題を考えることができました。住宅確保に関する問題は、支援者だけでなく、大家さん・不動産業者・行政機関など、様々な立場の方の理解や協力が必要な故の難しさがあるかと思いますが、だからこそ、人と人をつないでいく、稲葉さんや海老名さんらのような取組みの重要性を改めて感じることができました。

今回は貴重なお話をありがとうございました。

東京 TS ネット学生サポーター 小林真弓